

HORIBA

Process & Environmental

クリーンルーム測定用

AMCモニタリングシステム

APシリーズ



近年、半導体デバイスの高集積化・微細化などに伴い、クリーンルーム内の空間洗浄度レベルの高まりから、AMC※による材料や装置の汚染が問題視されています。

※ Airborne Molecular Contaminant

▶ AMCはこのような原因で流入・発生します！

原因

- 外気状態の変動
- 作業人数の増加
- オーバーホール時の装置からのリークなど

▶ AMCによるこのようなお困りごとはありませんか？

課題

- 品質低下・歩留まり悪化を改善したい。
- ケミカルフィルターの最適な交換時期を知りたい。



『クリーンルーム内のAMC監視』
Webサイトはこちら

✓ 手分析ではコストや時間がかかったり、作業によるバラつきも発生…

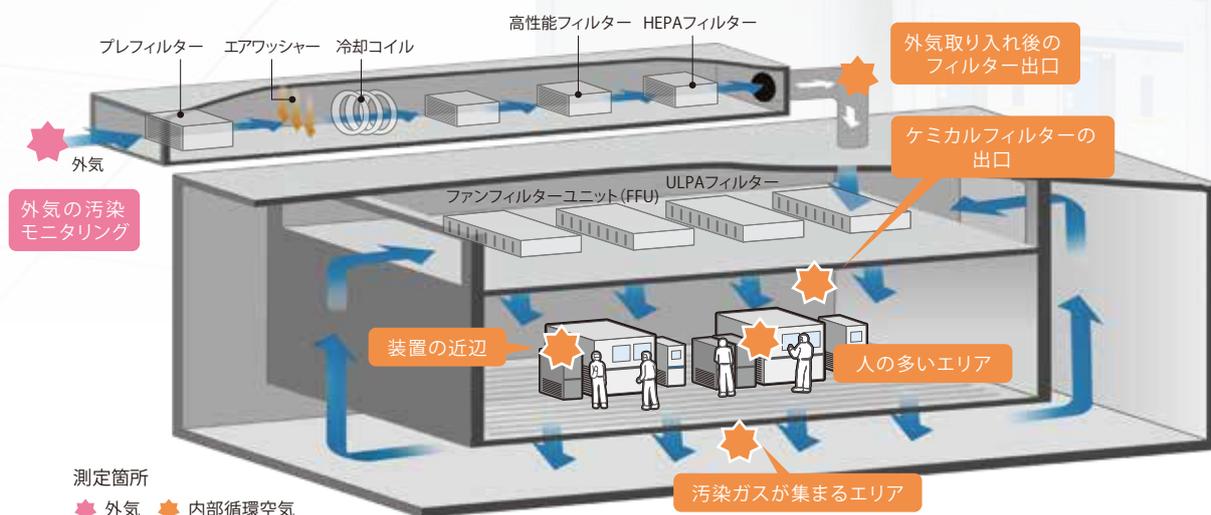


HORIBA AMCモニタリングシステムの特長

☑ 濃度トレンドを**見える化**

☑ 時間帯ごとの急激な変動も見逃さない**自動連続測定**を実現

≫ サンプルングポイントの例



時間分解能が向上! 連続データを得られることで、AMCの早期発見に貢献!

プレフィルター エアワッシャー 冷却コイル 高性能フィルター HEPAフィルター ULPAフィルター

外気 ファンフィルターユニット (FFU) サンプリングポイント

週一回の手分析の場合：測定間の急な変化を捉えきれませんでした。

濃度

時間

— : AMC

★ : 手分析

AMCモニタリングシステムによる連続測定の場合

細かな日々の変動までキャッチできます!

空間分解能が向上! 多点測定により、AMC発生源を推定!

汚染発生箇所

4 2 1 3 5

濃度

時間

【複数台数導入による多点自動測定】

5のみで測定した場合、汚染検出が遅れる可能性があります。多点測定により空間分解能を高められ、AMC発生源の早期推定に繋がります。

【ラインセレクター接続による複数箇所の自動測定】

ライン切替により1台で10点以上の複数箇所を測定できるため、特に大規模クリーンルームでより効果を発揮します!

<システムアップ例>

ラインセレクター

分析計

1 フィルター劣化による汚染が始まり、H₂S値が上昇。

2 周囲に徐々に広がる

3

4 さらに遅れて拡散

5

IMS

HORIBAグループでは、品質ISO9001・環境ISO14001・労働安全衛生ISO45001を統合したマネジメントシステム (IMS:JQA-IG001) を運用しています。さらに事業継続マネジメントISO22301を加え、有事の際にも安定した製品・サービスを提供できるシステムに進化しました。

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。

- このカタログの記載内容については、改良のために仕様・外観等、予告なく変更することがあります。●このカタログの製品詳細については別途ご相談ください。
- このカタログと実際の商品の色とは、印刷の関係で多少異なる場合もあります。●このカタログに記載されている内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- このカタログに記載されている製品は日本国内仕様です。海外仕様については別途ご相談ください。●このカタログで使用されている製品画面は、はめ込み合成です。
- このカタログに記載されている各社の社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。

株式会社堀場製作所

〒601-8510
京都市南区吉祥院宮の東町2番地 075-313-8121
<http://www.horiba.co.jp>

東京 03-6206-4721 大阪 06-6390-8011
名古屋 052-433-3450 九州 092-292-3593

株式会社堀場テクノサービス

〒601-8305
京都市南区吉祥院宮の東町2番地 075-313-8125
<http://www.horiba.com/jp/horiba-techno-service/>

拠点情報はこちら▶



●製品の技術的なご相談をお受けします。カスタマーサポートセンター

フリーダイヤル 0120-37-6045

受付時間/9:00~12:00、13:00~17:00

【祝祭日を除く月曜日~金曜日】

※携帯電話・PHSからでもご利用可能です。
※一部のIP電話からご利用できない場合がございます。

お問合せはこちら▶

